CRQ（Chronic Respiratory Disease Questionnaire）評価シート

慢性呼吸器疾患質問票 ／ 健康関連QOL（HRQOL）評価記録表（4領域・全20項目・7段階評価）

患者氏名		評価日	年　月　日（　回目）
診断名		評価者	

【評価方法の概要】 過去2週間の状態について、4領域（呼吸困難・疲労・情緒的機能・呼吸法の制御）の計20項目を**1点（最も悪い・強い症状）〜7点（最も良い・症状なし）**の7段階で評価します。**得点が高いほどQOLが良好**であることを示します。

7段階リッカート尺度（共通採点基準）						
1点 極めて強い症状 （最も悪い）	**2点** 非常に強い症状 （かなり悪い）	**3点** かなり強い症状 （悪い）	**4点** 中等度の症状 （どちらともいえない）	**5点** 少しの症状 （やや良い）	**6点** わずかな症状 （良い）	**7点** 症状なし （最も良い）

領域（項目数）	評価項目・質問内容	回答（該当に○）	得点
1. 呼吸困難 （Dyspnea：5項目） ※日常生活で息切れを感じ、本人にとって重要な動作を5つ選択	① 選択動作1：（　　）時の息切れ	1 2 3 4 5 6 7	/7
	② 選択動作2：（　　）時の息切れ	1 2 3 4 5 6 7	/7
	③ 選択動作3：（　　）時の息切れ	1 2 3 4 5 6 7	/7
	④ 選択動作4：（　　）時の息切れ	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑤ 選択動作5：（　　）時の息切れ	1 2 3 4 5 6 7	/7
2. 疲労 （Fatigue：4項目） ※過去2週間の倦怠感・疲労の頻度と程度	⑥ 疲れやすさ・倦怠感を感じた頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑦ 気力・エネルギーが充実していた程度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑧ 疲労感・だるさの強さの程度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑨ 疲れのために活動が制限された程度	1 2 3 4 5 6 7	/7
3. 情緒的機能 （Emotional Function：7項目） ※病気や症状に伴う精神・心理面への影響	⑩ 思い通りに動けずイライラ・不満を感じた頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑪ 咳や息切れに対して恥ずかしさ・気まずさを感じた頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑫ 呼吸器症状について不安・心配を感じた頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑬ 気分が落ち込んだり憂うつになったりした頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑭ リラックスして穏やかに過ごせた頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑮ 落ち着きがなく焦燥感を感じた頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑯ 自分の生活や現状に満足感を持てた程度	1 2 3 4 5 6 7	/7
4. 呼吸法の制御 （Mastery：4項目） ※息切れへの対処能力・自己効力感・克服感	⑰ 強い息切れが起きた際に恐怖心やパニックを感じた頻度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑱ 息切れや病気の症状を自分でコントロールできる感覚	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑲ 息切れが起きても冷静に対処できる自信の程度	1 2 3 4 5 6 7	/7
	⑳ 病気と上手く付き合っていけるという安心感の程度	1 2 3 4 5 6 7	/7

領域名	1. 呼吸困難（5項目）	2. 疲労（4項目）	3. 情緒的機能（7項目）	4. 呼吸法の制御（4項目）	総合計（全20項目）
領域合計点	/35点	/28点	/49点	/28点	**/140点**
1項目あたり平均点 （合計点 ÷ 項目数）	/7.0点	/7.0点	/7.0点	/7.0点	**/7.0点**

【臨床解釈と効果判定のポイント（MCID：臨床的に意味のある最小変化量）】
・各領域とも**1項目あたりの平均点（1.0〜7.0点）**を算出し、リハビリ介入前後の変化を比較します。
・**MCID（臨床的に意味のある最小変化量）は「1項目あたり 0.5点以上の改善」**とされています（0.5点：小〜中等度の改善、1.0点：中等度の改善、1.5点：大きな改善）。
・※正式な研究・臨床試験で使用する際は、原著者（Guyatt GHら）および日本語版ライセンス管理元の使用許諾規定をご確認のうえご使用ください。

This is for informational purposes only. For medical advice or diagnosis, consult a professional. AI responses may include mistakes.